

Ⅱ 9月補正予算案の主な施策

1 総合計画の推進

(1) 安全・安心のまちづくり

- 地域住民の安全・安心のさらなる強化を図るため、機動性が高く、人の多く集まるところで活動する**移動交番車全50台**に、**AED**を設置します。
- 犯罪の起こりにくいまちづくりを推進するため、平成24年1月から実施している**振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター**事業を1年間延長するとともに、消費者行政活性化基金を活用し、高齢者や若者を対象とした**悪質商法等撲滅キャンペーン**を実施します。
- 県立学校の耐震化**について、債務負担行為を設定し、平成25年度実施予定の工事を前倒しして着手するとともに、安心こども基金を活用し、**保育所・幼稚園等の複合化・多機能化**のため、被災した保育所・幼稚園を認定こども園として整備します。

- ◎移動交番車へのAED設置【新規】(16頁1段目) 1,000千円
(長期継続契約5年間分事業費17,325千円)
- ◎振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業(16頁2段目)
32,756千円(債務負担行為96,000千円)
- ◎消費者行政活性化基金事業(17頁1段目) 43,018千円
- ◎県立学校耐震化推進事業(18頁1段目) (債務負担行為3,347,000千円)
- ◎保育所・幼稚園等の複合化・多機能化事業【新規】(18頁2段目) 396,520千円

(2) 医療・福祉の充実

- 県民が地域において安心して良質の医療サービスを受けられるよう、地域医療再生臨時特例基金を活用し、**山武地域**における**全日の夜間小児初期救急医療体制**を整備するとともに、**香取海匠地域**の拠点病院である旭中央病院の患者集中の緩和を図るため、**周辺の連携病院の医療機器の整備**を促進します。
- がん患者等の**在宅医療推進**のため、高い無菌性が求められる注射薬等が処方できる在宅医療提供拠点薬局整備事業を実施します。
- 緊急的に補助単価を引き上げて整備を進めている**特別養護老人ホーム**や、市町村が促進する**小規模な介護施設**の整備への助成を増額し、市町村要望に対応します。
また、特別養護老人ホーム等の介護施設が開設前に行う職員雇用等の**準備経費**に対する助成についても、施設数に合わせて増額します。
- 高齢者を地域で日常的に支え合う体制づくりのため、**地域の支え合い**活動の立ち上げ支援や活動拠点の整備等に対する助成を拡充します。
- 障害者支援施設等の経営安定化**、施設の増改築や**耐震化**、スプリンクラーの整備に対して助成します。

◎地域医療再生臨時特例基金事業（19 頁 1 段目）	66, 778 千円
◎在宅医療提供拠点薬局整備事業【新規】（20 頁 2 段目）	10, 008 千円
◎老人福祉施設整備事業補助（21 頁 1 段目）	1, 216, 000 千円
◎介護基盤緊急整備特別対策事業交付金（21 頁 2 段目）	1, 089, 000 千円
◎特別養護老人ホーム等の開設準備支援等事業（22 頁 1 段目）	398, 367 千円
◎地域支え合い体制づくり事業（22 頁 2 段目）	98, 000 千円
◎障害者自立支援対策臨時特例基金事業（24 頁 1 段目）	1, 441, 621 千円
◎社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金事業（24 頁 2 段目）	403, 574 千円

(3) 笑顔輝く子どもを育てる県づくり

- 市町村が行う、乳幼児を対象とした**ヒブ・肺炎球菌ワクチン**や中高生を対象とした**子宮頸がんワクチン接種**に対する助成を増額します。
- 安心して子育てができる環境を整備するため、保育所等が実施する**延長保育**等への助成や、**放課後児童クラブ**に対する助成について拡充します。
- 柏特別支援学校における児童生徒の増加に伴うスクールバス利用者の増加に対応するため、**スクールバス**を増車します。
- 県立高等学校において、生活全般の介助を行う**特別支援教育支援員**について、特に学習上・生活上の困難さを多く抱えている生徒に対し、2名体制で介助を行います。

◎子宮頸がん等ワクチン接種促進事業（26 頁 1 段目）	1,382,295 千円
◎保育対策等促進事業（26 頁 2 段目）	48,500 千円
◎放課後児童健全育成事業（26 頁 3 段目）	44,360 千円
◎特別支援学校スクールバス運行业務委託（27 頁 1 段目）	4,500 千円
◎高等学校特別支援教育支援員配置事業（27 頁 2 段目）	3,000 千円

(4) 産業の活性化・雇用対策と基盤整備

- 24年度末の中小企業金融円滑化法の終了を踏まえ、**中小企業再生ファンド**を設立し、中小企業の再生を支援します。
- 成田空港の活用**に官民が連携して取り組む「(仮称)成田空港活用協議会」の平成25年度の設立に向けて、協議会のビジョンの策定等を行う「設立準備会」を設置します。
- 園芸用の施設・機械を整備する**園芸産地競争力強化総合対策**事業を増額し、園芸産地の競争力強化を図ります。
- 養豚農家の経営安定を図るため、豚肉価格の下落時に農家に補てん金を交付する**肉豚生産安定対策**事業において、1頭あたりの県の助成単価を拡充します。
- 雇用情勢が依然として厳しい中、新卒未就職者の早期就職を支援するための基礎研修や就労実習の実施など、**緊急雇用創出**事業を一層推進します。
- 圏央道沿線では、比較的小規模な区画で企業立地ニーズが高まっていることから、**かずさアカデミアパーク**内の大規模な県区画において、区画割を見直し、立地を加速します。
- 交流基盤の強化を図るため、国道409号(長生グリーンライン)の整備や、行徳橋の架換の設計など、事業費を増額します。
- アウトレットパークなど大型商業施設の開業により交通量が増加している**金田西地区**土地区画整理事業において、中野畑沢線の25年度末の**4車線化**に向け、ライフライン整備を前倒して実施します。

◎中小企業再生ファンド貸付金【新規】(28頁1段目)	100,000千円
◎(仮称)成田空港活用協議会設立準備事業【新規】(28頁2段目)	3,000千円
◎園芸産地競争力強化総合対策事業(28頁3段目)	431,640千円
◎肉豚生産安定対策事業(29頁1段目)	42,200千円
◎緊急雇用創出事業(31頁1段目)	1,852,359千円
◎かずさアカデミアパーク区画小規模化検討調査【新規】(32頁1段目)	7,000千円
◎道路橋りょう事業(32頁2段目)	1,187,418千円
◎(特別会計)金田西地区土地区画整理事業(40頁1段目)	160,000千円

2 東日本大震災への対応

(1) 被災者支援

- 応急仮設住宅の居住環境の改善**のため、風呂の給湯器を追い炊き機能のあるものに交換するとともに、応急仮設住宅の供与期間を1年間延長します。
- 災害援護資金貸付金**について、貸付額を増額し、被災者要望に対応します。
- 県外からの避難者の増加に伴い、市町村の行う応急仮設住宅の借り上げ等に係る負担金を増額します。
- 被災した**中小企業の施設等の整備を支援**するため、中小企業グループに対する国・県の補助金の交付を受けた企業の自己負担額に対し、長期の無利子貸付を行います。

◎応急仮設住宅の提供 (33 頁 1 段目)	90,000 千円 (債務負担行為 71,000 千円)
◎災害援護資金貸付金 (33 頁 2 段目)	235,100 千円
◎災害救助事業 (33 頁 3 段目)	536,623 千円
◎(特別会計)被災中小企業施設・設備整備支援事業 (38 頁 2 段目)	1,292,600 千円

(2) 放射性物質対策

- 「千葉県放射性物質除染実施プラン」に基づき、県管理施設のうち、**特別支援学校や高等学校、都市公園**など子どもの利用の多い施設の除染のため、国庫補助金により、必要な経費を計上します。
- シイタケなどの**特用林産物**について、放射性物質検査や指標値を超えたシイタケ原木の入れ替え助成など、出荷制限の早期解除に向けた取組を強化します。
- 稲わら等を原料とした堆肥について、放射性物質の暫定許容値を超えるものの処分費用を計上します。

◎原発事故由来放射性物質対策事業[県管理施設等除染分] (34 頁 1 段目)	767,255 千円
◎シイタケ等特用林産物生産の早期復興支援事業【新規】 (35 頁 1 段目)	50,100 千円
◎農業系汚染廃棄物処理事業 (35 頁 2 段目)	74,943 千円

(3) インフラ復旧・災害予防

- 国からの**東日本大震災復興交付金**を財源として、基金を造成するとともに、基金を活用して、香取市の被災した農業用用水管の布設替えを実施します。
- 津波被害を防止**するため、東京湾沿岸等での対策に向けた調査や、九十九里地域の河川津波対策として用地買収に向けた準備を実施します。
- 地域防災計画の見直しを踏まえ、防災教育の普及促進や東日本大震災記録誌を作成するとともに、自主防災組織への助成を増額し、県内全域の**防災力の向上**を図ります。

◎東日本大震災復興交付金事業【新規】(36 頁 1 段目)	283,550 千円
	(債務負担行為 173,000 千円)
◎河川海岸津波対策事業(36 頁 2 段目)	65,093 千円
◎地域防災力向上支援事業(37 頁 1 段目)	20,000 千円